

# 朗読ニュース

2015年晩秋号

戦後70年の節目の年にあたり、全国各地で会員による「平和について考える朗読会」が、開催されました。その特集を晩秋号でご案内いたします。

## IN 秋田

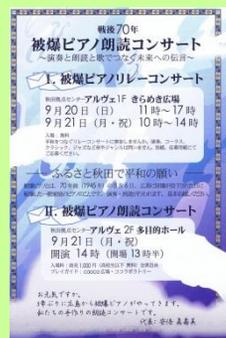
### 戦後70年 ふるさと秋田で「被爆ピアノ朗読コンサート」

今年9月、2台の被爆ピアノが秋田にやって来ました。秋田駅に隣接するアルヴェ1階のきらめき広場には、平和の願いをつなぐリレーコンサートのピアノ、2階のホールには朗読コンサートのピアノが置かれました。2台のピアノを広島から運んで来た調律師の矢川光則さんとは、5年ぶりの再会です。

5年前、秋田で初めて「被爆ピアノ朗読コンサート」で、「希望の赤い花」を演奏した女の子は、中学3年生になり、再び被爆ピアノを弾きました。

彼女にとって平和が大事なテーマとなったのは、家族旅行で広島を訪れた時に出会った絵本「ミサコの被爆ピアノ」でした。その「ミサコの被爆ピアノ」を朗読したのは、同じ中学校の仲良しの同級生でした。ピアノの音と共に始まった同級生の朗読は、戦争の怖しさ、悲しさを、会場いっぱいのお客様と共有できたと確信しています。この日、二人の中学生は、それぞれ平和への思いを強く心に刻んだのではないのでしょうか。どんな大人になるか楽しみです。戦後70年経った今、戦争は絶えることがないのが現実ですが、この子たちの未来が、戦争のない平和な世界でありますようにと、願うばかりです。

(安倍眞壽美)



## IN 徳島

### 戦後70年特別シンポ「ともに歩むこれからを生きる」

対談] 瀬戸内寂聴 (作家・僧侶) vs 山田洋次 (映画監督)  
9月3日開催、徳島新聞社主催

加賀美幸子選「読み聞かせる戦争」からヒロシマの空・叫び声と被爆者証言を構成し、会場3300人の方々为本当にしーんとなり、心を込めて伝えることが出来たと思います。加賀美講座・博品館劇場出演経験等を大いに活かす事が出来ました。(岩瀬弥永子)



## 「平和の素晴らしさ」を表現したふたつの朗読会

戦後70年を迎えた今年は、現政権の動きもあって、様々なメディアをはじめ多くの国民が、関心を示しました。しかし、今年に限らず地道に「平和の素晴らしさ」を考え表現してきた人達は、実に沢山いるのです。そんな公演ふたつに私は、今年も企画からかかわることが出来ました。

ひとつは、早乙女勝元氏の記念講演・氏の作品「死んでもブレストを」の朗読です。お国のために通信業務を務めた墨田電話局の交換手たちの物語で、スライドを併用しての公演となりました。実行委員会を作り、私は脚本から約半年かかわることになりました。戦災資料センターを再訪し、朗読本番を迎えました。ふたつ目は、YMCAアジア青少年センターにて「ヒロシマ・ナガサキから70年そしてフクシマ想いをつなぎ平和を考える」と題し、東京・千葉・茨城・長崎で活動する5グループで合同朗読祭を開催しました。約1年の準備期間を経て、当日は、たった1つの点であった表現者が線となった瞬間でもありました。戦後50年から始まった私の20年目の平和公演でした。（内藤和美）



## 「平和のための小さな朗読会」 8月2日開催 かわせみ座

今年は、戦後70年の節目にあたり、町田でも何かしなければと心を突き動かされるものがあり、私達に無理なく出来ることは、朗読会の開催でした。

私は「読み聞かせる戦争より 加賀美幸子選」から「ヒロシマの空」を読みました。あふれる死体、焼く時の臭い、あふれでている内臓、これらを眼にいれながら我が家をさがして歩く作者、林幸子さんを思った時、人間としての感情を捨て去らなければどおりつくことは出来なかつただろうと、心をかきむしられた。私は活字を目で追っているが、作者にとってそれはむごい現実であるということ！私は見たこともないその現実を、なんとか作者になりかわって伝えなければと考えた。生涯学習センターで被爆体験者の話も聞いた。お客様に気持ちだけでも伝わったと信じたい。（津崎れい子）



## 「声に出す平和への祈り」 NPO日本朗読文化協会主催 八重洲ブックセンター

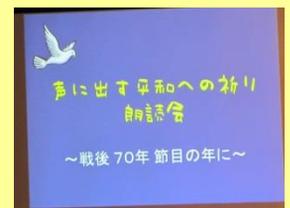
8月29日（土）、ご来場の皆様と共に、心静かに世界平和を祈り、黙祷を捧げました。当協会も、今年より主催者となり（2013年は港区主催）、実行委員として制作・企画にあたり、会員の皆様に公募し、9名の方々に朗読をお願いしました。

第1部）小・中学生5名（朗読の森）が、「瞳の中の子どもたち」（長崎県平和賞受賞作品）を読んで下さいました。スクリーンに写される風景・建物にも効果を上げることが出来ました。

第2部）会員皆様の心を込めた作品に、朗読を通して戦争の恐ろしさを感じていただけたと思います。

今回の朗読会を通して、2004年以来「声に出す平和への祈り」として公演を続けてきましたが、今後も継続していきたいと思います。

（実行委員一同）



## 被爆ピアノと共に平和を考えるコンサート「未来への伝言」



被爆ピアノと共に平和を考えるコンサート「未来への伝言」も7年目、今年は船橋市民文化ホールの主催により、8月8日に開催の運びとなりました。舞台上に置かれる被爆ピアノは、調律師 矢川光則さんによってよみがえった、広島の爆心地から1.8キロの民家で被爆しながらも、奇跡的に生き残ったピアノです。

コンサートのレギュラーメンバーは、長唄杵巳流七世家元で人間国宝の杵屋浄貢さん・杵屋巳佐さん、谷川賢作さん、おおたか静流さん、クラーク記念国際高校の生徒達1100名、朗読の小磯一斉さん、飯島晶子。ゲストとして船橋市から、男声4部合唱団「塚田のcockさん合唱団」や船橋市立八木が谷小学校音楽部のみなさんが参加、優しい元気な歌声が1000名収容のホールに高らかに響きました。そして大所帯をまとめてくれる演出・スタッフは飯田輝雄さんチーム。

「平和」の大切さとともに「継続」「出逢い」の大切さも、心に刻む戦後70年の平和祈念コンサートでした。そして、このコンサートで毎年取り上げている曲（谷川俊太郎作詩・杵屋浄貢作曲）の「原爆を裁く」がNHKの開局90周年記念番組で全曲放送されるなど思いがけない嬉しいニュースが！さて、来年は・・・（飯島晶子）

## 声に出す平和への祈り ～伝えよう未来へ、平和の守り手として～



8月15日、立命館大学国際平和ミュージアムにおきまして、戦後70年企画「声に出す平和への祈り」の朗読会が開催されました。こちらには、長野県にある「無言館」の京都分館があり、今年がその10周年にあたることから、同ミュージアムの主催（協力：NPO日本朗読文化協会）で開催に至りました。節目の年に意義ある場で、この会が実現しましたことに心より感謝しております。

朗読文化協会からは、秋山雅子さん、安倍眞壽美さん、林たのしさんがご協力下さった他、地元朗読グループの皆さん、学生、市民有志の皆さんが参加されました。14日は夕刻までリハーサル、当日は早朝より全員そろって心ひとつに開演を迎えました。

はじめに、わだつみの像に黙祷、その後「無言館 京都分館」の見学。その後、1階の中野ホールにて「無言館いのちの画集」のリレー朗読、「月光の夏」とピアノ演奏のコラボ、ラストは参加者の皆様全員による「祈」の書のもとへの献花、ふるさとの合唱で締めくくりました。京都での8月15日の動員はなかなか難しくご参加下さった皆様は、一般の方40名、関係者等含め合計60名という数でしたが、NHK京都放送局で3回の告知放送、朝日新聞、京都新聞からの取材があり、反響も多数頂戴いたしました。これも協力くださった皆様のお蔭と深く感謝しております。（植田聖子）

## ● 掲示板 会員の朗読会と活動情報 (2015.12~2016.3)

日時	公演名	場所	出演者名
12月5日	第16回「オーリーブ朗読会」	千葉県・さんむの森文化会館	古内恵美子
12月5日	真言宗道成会にて「蜘蛛の糸」	安養院講堂	飯島晶子
12月6日	ライブリーディングブーケVol.3～言葉と心の窓にして	ホテルメトロポリタン仙台4階	長野淳子
12月6日	たまゆらの会朗読会	さくら市氏家図書館	青木ひろこ
12月9日	朗読カフェ	葛飾区鎌倉「喫茶ローズイー」	永井喜代子
12月10日	「椿」オペラ&ドラマリーディング	汐留ホール	奥山啓子
12月12日	Guerir Lunch Concert ～朗読と音楽とお料理と～	尾山台・トラットリア ロアジ	松島邦
12月18日	北新朗読会	北新宿生涯学習館	内藤和美・川口和代
12月20日	クリスマス朗読交流会	安養院講堂	飯島晶子・飯島教室メンバー
12月24日	自由学園明日館クリスマス礼拝	明日館	飯島晶子
1月8日	新春お昼休みコンサート	千葉・大里総合管理棟ホール	吉田周子
1月10日	お話し会「絵本でおさんぽ」・以後毎月第一日曜日	紀伊國屋書店新宿本店	赤間立枝
1月13日	朗読と謡で紡ぎ横笛で彩る源氏物語「夕顔・葵上」	ホテル東日本宇都宮「万葉亭」	青木ひろこ
1月23日	新春八重洲朗読会	八重洲ブックセンター本店8F	青木ひろこ・小川弘子・古内恵美子・三上実枝子
1月29日	初春ヒルズサロン朗読会	六本木ハリウッドビューティープラザ	宮崎弥生・植田聖子
2月1日	2月お昼休みコンサート	千葉・大里総合管理棟ホール	吉田周子
2月18日	響き合う言葉と音楽	巣鴨・東音ホール	秋山雅子

## ● 会員情報(2015年9月～11月新入会員のお知らせ)

白井ユカリ(学生)、北村敏子、岩本一恵、新関惇子、岡村香、蒔村三枝子、内藤和美(敬称略)

## ● お知らせ

12月28日(月)午後～1月4日(月)事務局は年末年始休暇期間です。

## ● 編集後記

この晩秋号は広報委員による手作り朗読ニュースですが、いかがでしょうか？

晩秋の色彩豊かな機関紙をイメージして作成しました。

Word よりも PowerPoint を使用した方が、数段出来映えがよいことを知ったのが、編集日の直前。 そうだ！事務局で眠っていたノートPC に PowerPoint があることを発見！  
ところが、今度は印刷ができない等いくつかの難題を克服し、漸く納期確保できた次第・・・ (経費節減チャレンジした広報委員一同)



朗読ニュース 2015年晩秋号(通巻41号)

発行日2015年11月30日

発行 NPO日本朗読文化協会

理事長 城所ひとみ

〒107-0052東京都港区赤坂3-8-8

赤坂フローラルプラザビル3F

TEL 03-3584-4451 FAX 03-3584-4452

Eメール: npo-rodoku@rodoku.org

<http://www.rodoku.org/>